

第 6 回 益田市立地適正化計画策定審議委員会 議事要旨

1 日 時 令和 4 年 12 月 27 日（火）14 時 00 分～16 時 00 分

2 会 場 益田市役所 3 階 大会議室

3 意見等内容

意見主旨	委員意見	事務局回答等
災害による被害想定区域について	・ハザードマップでは、高津川沿いにも河岸浸食による被害想定区域があるが、記載がない。	・河岸浸食による被害想定区域も氾濫流と併せて記載することとする。
	・河岸浸食による被害を示す赤色とレッドゾーンの赤は、色を分けて記載した方が良いのではないか。	・それぞれを別の色で分けて記載することとする。
防災指針について	防災指針の部分で、「山陰道を経由して避難する」という記載があるが、災害時には現実的ではない。	・まずは、2ha 近くの面積のある防災公園に上がって命を守り、その後、風雨が収まった後に山陰道を使うということを想定している。 ・今回配布している資料には、防災公園を「一次避難場所」としているが、「一時避難場所」が正しい記載である。
	・益田市水防センターは、避難場所として考えられないか。ここに避難すれば、そもそも防災公園を建設する意味が無かったのではないか。	・益田市水防センターは指定避難場所であるが、今回、一時避難場所として整備を予定する防災公園とは役割が異なる。
居住誘導区域について	・居住誘導区域について、高津 1 丁目付近が一部外れているのは、なぜか。	・家屋倒壊氾濫想定区域に近接していることから除外していた。 ・指摘があった区域も家屋倒壊氾濫想定区域に含まれていないので、居住誘導区域に含めることとする。
	・31 ページに「危険区域のリスクから回避をするために居住誘導区域への誘導を進める」とあった。であると、危険区域に該当する保育園が市内に何か所かあります。危険区域に位置する保育園には行かずに、安全な区域に位置する保育園に行くべきという判断につながりかねない。 市の発行する計画書にこうした記載があるのは、問題があると感じる。	・今後県の方で急傾斜対策事業ということで、特にレッドゾーンは、優先的に事業をしようということで動いている。行政としても対策工事を推進できるように働きかけていく。しかし数が多く、すぐにはすべてに対応できない状況である。 危険区域については、危険性の周知や避難体制の充実を図るほか、希望される方に移転に関する情報提供を行っていきたい。

意見主旨	委員意見	事務局回答等
<p>中山間地域について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・この計画では、中心市街地のことのみに焦点を置いて検討してきているが、周辺地域のことがおろそかになっているのではないか。 ・文章中では、地域自治組織と公民館を中心にした活動が強調されており、住民任せの印象を受ける。行政のバックアップの形が見えてこない。 ・一か所に住民を誘導するような極端な計画ではないと述べているが、実際には多くの住民が周辺部を離れて誘導区域に住むようになるのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・立地適正化計画は都市計画区域内に関する計画であり、居住誘導区域の人口を維持して、インフラ整備等の効率性を高めることを目指していく。 ・中山間地域については、今年度条例ができ、来年度に中山間地域に関する計画を作る予定にしている。そのことをこの部分に盛り込むこととする。 ・益田市全体を考えた際に市民全体が利用する商業施設や医療施設などの既存の施設が無くなることによって、利便性が維持できなくなることが考えられる。立地適正化計画は、市全体の利便性を維持するための計画だとしてご理解いただきたい。
<p>高校生意見交換会について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・高校生意見交換会の結果は、計画に反映されるのか。そうであれば意見聴取は、もう少し早い段階で行うべきだったのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現時点である程度案ができていますので、可能な範囲での反映となる。パブリックコメントの一つとして理解いただきたい。 ・昨年のところで高校生を対象にしたアンケートも行っているため、その意見は計画に反映している。